



平成 28 年 11 月 4 日

各 位

会社名 株式会社 フレンドリー
代表者名 代表取締役社長 後藤 政利
(コード 8209 東証第 2 部)
問合せ先 取締役 管理本部長 和田 高明
(TEL 072-874-2747)

特別損失の発生及び第 2 四半期累計期間業績予想との差異
並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間におきまして、特別損失の計上をすることになりましたのでお知らせするとともに、平成 28 年 5 月 13 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)の業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の通期業績予想について下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期累計期間に発生した主な特別損失の内容

不採算店舗に係る店舗閉鎖損失 7 百万円、店舗閉鎖損失引当金繰入 26 百万円および減損損失 4 百万円、固定資産除却損 2 百万円、合計 41 百万円の特別損失を計上いたしました。

2. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,469	91	96	49	3.32
実績値(B)	4,167	△65	△61	△116	△8.91
増減額(B-A)	△302	△156	△157	△165	—
増減率(%)	△6.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	4,528	△95	△92	△235	△17.64

3. 平成 29 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,935	266	278	185	13.05
今回修正予想(B)	8,192	34	43	△25	△2.49
増減額(B-A)	△743	△232	△235	△210	—
増減率(%)	△8.3	△87.2	△84.5	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	8,675	28	38	△176	△13.56

4. 差異及び修正の理由

(1) 第 2 四半期累計期間

第 2 四半期累計期間における売上高につきましては、既存店売上高の計画未達を主な要因とし、前回予想を下回る結果となりました。各業態毎に対策を実施いたしましたが、消費者の節約志向は依然として強く、台風の影響など天候が不順気味であったことも要因となり、来店客数及びお客様単価の計画を達成するに至りませんでした。主力業態「源ぺい」の既存店売上高が前年を 7% 程度下回るなど第 2 四半期累計期間の売上高は厳しい状況となりました。

営業利益につきましては、既存店売上高の減少影響に加え、中途社員の採用、パート募集時給の上昇による人件費の高騰及び原材料の高騰などにより前回予想を下回る結果となりました。

また、経常利益、四半期純利益につきましても、特別損失 41 百万円の計上等により、前回予想を下回る結果となりました。

(2) 通期

第 2 四半期累計期間の業績動向及び下半期の各業態毎の来店客数・お客様単価を精査すると共に、今秋の最低賃金の上昇、野菜等の原材料価格高騰等も加味し、通期の業績予想を修正いたします。

上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上